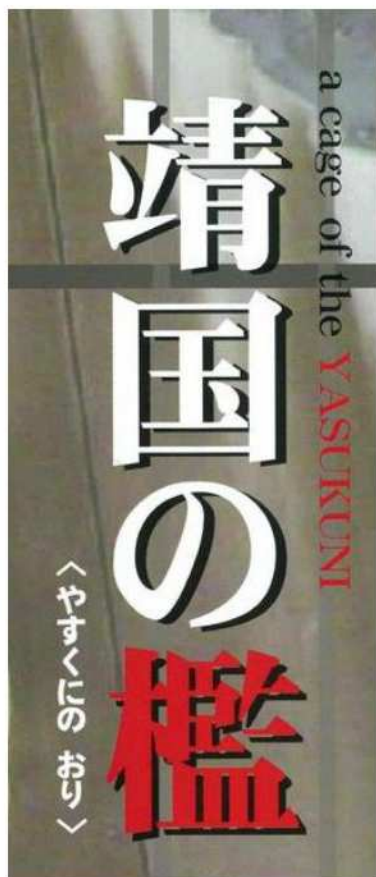


これでいいのか？天皇制

—大嘗祭と靖国思想—

映画「靖国の檻」上映と菅原龍憲さん講演会



プロフィール 1940年島根県大田市に生まれる。浄土真宗本願寺派僧侶。アジア・太平洋戦争の戦没者遺族。1985年より今日まで30数年にわたり、靖国神社に対して戦没者である父親の名前を霊璽簿より削除(合祀取り消し)するよう求めてきた。2001年より2005年まで「小泉首相靖国参拝違憲訴訟」原告団長。2006年より2011年まで「靖国合祀取り消し訴訟」原告団長。現在、真宗遺族会代表。「即位・大嘗祭違憲訴訟」(2018年12月10日東京地裁提訴)呼びかけ人・原告。

スケジュール

・開場 13:00 ・映画 13:35~14:50 ・講演 14:50 終了 16:10

日時:10月26日(土)

会場:名古屋能楽堂会議室

【交通アクセス】

- ・地下鉄鶴舞線「浅間町」下車 1番出口より東へ徒歩10分
- ・地下鉄名城線「市役所」下車 7番出口より西へ徒歩12分



参加費:800円

5月、新天皇が即位し、10月22日には「高御座」に立って内外に即位を宣言する「即位礼正殿の儀」や「饗宴の儀」が、また、11月14日から15日にかけて、天皇の「霊」を受け継ぐ皇室祭祀の儀式「大嘗祭」が行なわれる。これらはすべて「国事行為」または「皇室行事」として、国の予算を投じておこなわれ、憲法の「政教分離原則」「主権在民原則」からみて、多くの問題をはらんでいる。即位・大嘗祭の違憲裁判を闘う菅原さんに、大嘗祭と靖国思想をテーマに、一連の代替わり儀式と天皇制についての問題を聞きます。多くの方の参加を！

主催:代替りを機に天皇制を考えるあいちネットワーク

連絡先:090-6468-5556

映画 「靖国の檻」



ドキュメンタリー映画『靖国の檻』

(DVD・上映時間 65 分)

2006 年 8 月、我が国の裁判史上初めて、靖国神社を相手取って戦没者の合祀取り消しを求めた裁判が提訴された。

この歴史的な裁判の意味と原告の内面を描いたドキュメンタリーがこの程完成した。

8 人の原告は、この裁判をいかに闘ってきたのか。そして己が内面といかにして向き合ってきたのか。

大阪靖国合祀取り消し訴訟原告団団長菅原龍憲が、関西、四国、北陸に暮らす原告を訪ね、その内面に鋭く切り込んだ渾身のロードムービー。今、「日本人」が問われる。

即位・大嘗祭違憲訴訟

●1990 年に約 1700 人もの原告が名を連ね、提訴された「即位の礼・大嘗祭」違憲訴訟は、大阪地裁での“門前払い”判決を乗り越え、敗訴ではあったものの、控訴審で政教分離原則違反の疑いありとする画期的判決を勝ち取り、1995 年 3 月結審した。

●2018 年、12 月 10 日、「即位の礼」や皇位継承の重要儀式「大嘗祭」は、憲法が定める政教分離の原則に反するとして、市民団体「即位・大嘗祭違憲訴訟の会」が国に 1 人当たり 1 万円の損害賠償と、儀式に公金を支出しないよう求める訴訟を東京地裁に提訴。裁判は、差し止め請求を「行政事件」として、損害賠償請求を「一般民事事件」として分離させられ、国費差し止めについては、2019 年 2 月 5 日、一度も口頭弁論を開かないまま請求棄却を行った。(控訴中)損害賠償請求については係争中。

●即位の礼

一連の天皇の組国に関わる儀式。「剣璽等承継の儀」、「即位後朝見の儀」、「即位礼正殿の儀」、「祝賀御列の儀」、「饗宴の儀」があり、このうち、10 月 22 日に行われるのが「即位礼正殿の儀」。天皇の玉座を意味する高御座にのぼり即位の宣誓し、内閣総理大臣が祝辞である「寿詞」を読み上げ、万歳を三唱して参列者一同がこれを唱和する。この日は休日とされ、国事行為として行われる。

●大嘗祭

日本の天皇が即位の礼の後、初めて行う新嘗祭。2019 年 11 月 14 日に行われる。新天皇が悠基国・主基国から献上された新穀を神々に供え、自らもそれを食し、「五穀豊穰」と「国家・国民の安寧」を祈願する皇室儀式である。皇室の公的な皇室行事とされ、その費用は皇室の「宮廷費」から支出することになった。いずれの儀式も憲法の政教分離の原則に違反する。